

# ちよつとしい話

## ～ 祝い事の可否 ～

世の中には祝い事がたくさんあり、出席の有無について悩む事もしばしばあるかと思っています。私的には結婚、出産と生活環境の変化する過程から始まります。古来より各行事は神仏を中心に執り行われてきました。現在は神仏の意に叶う内容から外れてきた様に思えます。喩えて言いますと七、五、三の祝いに寺や氏神様に参拝するも、本人と両親は礼節をわきまえきちつとした服装で大変結構な事ですが残念な事に肝心の佛様、神様に献上する品を持参する方が非常に少ないのです。この様に主と従の間違いがたくさんあります。家族の誕生日を祝う方が大勢みえるかと思いますが、どうゆう形で祝い事をしてみえますでしょうか。我が家は佛様、神様と仏壇に赤飯をお供えし、誕生を迎えた人の報告をし、読経を称えます。そして家族揃ってそのおさがりを頂きます。國の祝い事は如何でしょう。

残念な事に、我が國の祝日を祝う人が大勢みえるとは思えません。何故かと言いますと、祝日に国旗を掲揚される家がほとんど見受けられません。それもそのはずで、現在、物質的には或る程度満足出来ても、精神的に満足出来る状態では無いと思われます。日本国沈没か？今年度、一般会計の歳出が44%も赤字となり、国債の発行による借金でまかかっております。累計赤字は700兆円を超えてしまいました。金融業界も大荒れで低迷はまだ続きそうです。国民が真剣に建国を考えないと大変な事に成るのではないのでしょうか？ですから私達は佛様の意に従い報恩を旨に日々暮らし。全国民が國を祝おうとする、祝いたいと思う日が一日も早く来る事を切に望みます。

祈念：当山檀信徒各家福寿無量如意満足

善入院油掛地藏尊